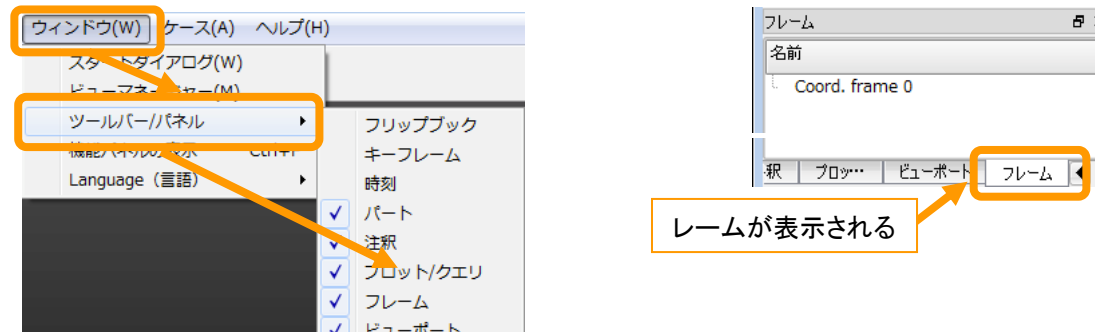
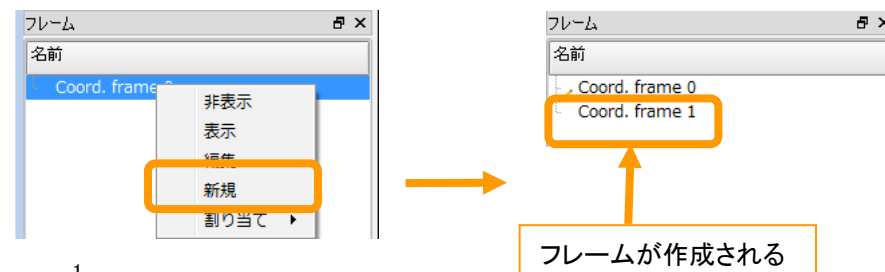


## パート移動アニメーション

扉や蓋を開くなど特定のパートを動かすアニメーションです。動画を作成する際に、最初は蓋が閉じた状態ではじまり、途中で蓋をゆっくり開いて内部の状態を見せるといった場合に利用できます。本機能はフレームとキーフレームの2つの機能を利用します。フレーム機能は通常非表示になっているので以下の操作でフレームを表示して下さい。

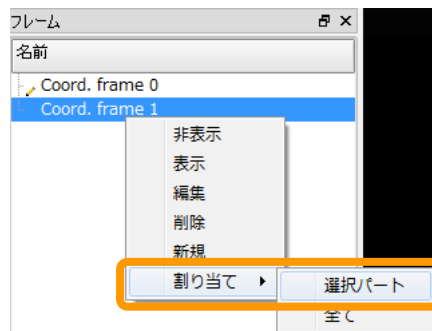


通常1つのフレーム (frame.0) に全てのパートが割り当てられています。フレームパネルの coord.frame.0 上で右クリックし、新規 を選択して新しいフレーム (coord.frame.1) を作成します。

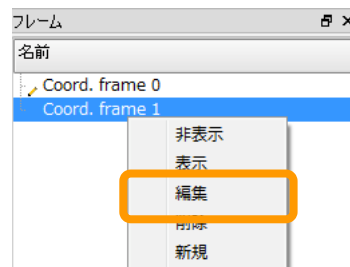


# パート移動アニメーション

フレーム毎に動きを与えられるので動かしたいパートを選択した後、追加したフレーム上で右クリック 割り当て >> 選択パート を指定します。動かしたいフレームを選択し、編集 メニューを指定します。



パートの割当

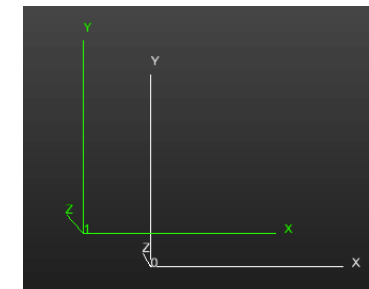


フレームを選択し編集パネルを表示



フレーム編集パネル

フレーム編集パネルを表示すると画面上に軸が表示されます。原点位置に表示されている数値がフレームの番号です。まずは編集パネルのスライダーなどを操作して割り当てたパートが移動する事を確認します。



## パート移動アニメーション

フレームの動きを確認したらキーフレームアニメーションを利用してアニメーションを作成します。

キーフレームアニメーションは、キー(フレーム)を複数設定し そのキー間を補間して表示するものです。例えば、初期状態でキーを設定し、パートを100mm移動して更にキーを設定します。キーの間は何フレームで補間するかサブフレームとして設定できるため、4フレームに設定すると20mmずつ移動させることができます。

設定キー (フレーム)	サブ フレーム数	移動量	
1	0	0.0	
	1	20.0	< サブフレーム (補間される)
	2	40.0	< サブフレーム (補間される)
	3	60.0	< サブフレーム (補間される)
	4	80.0	< サブフレーム (補間される)
2	0	100.0	

以下の手順でキーフレーム設定パネルを表示します。



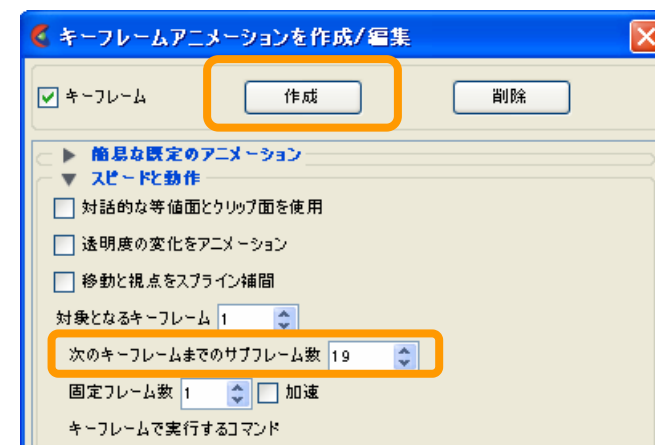
## パート移動アニメーション

キーの設定は [作成] ボタンで行います。ボタンを押す度にキーが追加されます。データを表示した後、以下の手順でフレームとキーの操作を行って下さい。

1. キーフレームアニメーションの編集パネルで [作成] ボタンを押す。
2. フレーム編集パネルを表示し、パートを移動する
3. キーフレームアニメーションの編集パネルで [作成] ボタンを押す。

※フレーム操作とキーフレームは同じパネルに表示されます。それぞれ機能を選び直して設定します。  
※サブフレームの数を増やすと移動が滑らかになります。

以上の操作でキーが2つ作成されます。必要に応じて同様の操作を繰り返して下さい。



キーフレーム編集パネル



フレーム編集パネル

## パート移動アニメーション

再生は、メインパネルの [キーフレーム] タブで行います。

再生ボタンを押すと、先ほど作成したキーフレームが表示されます。

作成されたキー(フレーム)とサブフレームは、コマ送りの再生ボタンとその下の数値で確認できます。

更に動作を追加したい場合は、キーフレームパネルの [作成] ボタンを押すとキーの最後に追加されます。

本操作で作成したキーは修正できませんが、指定したキー以降を削除することができます。この場合、[削除] ボタンを押し、キー(フレーム)の番号を入力後 [OK] ボタンを押します。

